

2019年度 事業計画書

(自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)

目 次

●メイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパンの歩み

●事業計画

I. ウィッシュ事業

1. 夢の実現
2. 広報活動
3. 会員増加及び寄付活動
4. ボランティアの養成と支援

II. イベント事業

III. 物品販売事業

IV. 不動産賃貸業

V. 法人管理

●メイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパンの歩み

メイク・ア・ウィッシュは1980年にアメリカで始まりました

メイク・ア・ウィッシュが生まれたのは1980年。アリゾナ州に住むクリスという少年の夢をかなえたことが始まりでした。

7歳のクリスは、警察官になるのが夢でした。しかし、クリスは白血病にかかり、学校に行くことさえもできなくなってしまいました。この少年の話を聞いたアリゾナ州警察の警官たちは、クリスのために制服やヘルメット、バッジを用意し、彼を一日名誉警察官に任命しました。

本物そっくりの白バイに乗って駐車違反の車の取締りをしたり、ヘリコプターに乗って空からパトロールしたり、クリスはこの上なく幸せな時間を過ごすことができました。この日、クリスの夢はかなったのです。

残念ながら、この素敵なお一日からほんの数日後、安らかな顔でクリスは旅立っていきました。アリゾナ警察では、名誉警察官のための葬儀を執り行い、彼を見送ったのでした。

クリスの夢の実現に関わった人々は、クリスのように大きな夢を持ちながら難病と闘っている子どもたちが他にもたくさんいるに違いないと考えました。こうして設立されたのが、「メイク・ア・ウィッシュ」です。

メイク・ア・ウィッシュはこんな団体です

「メイク・ア・ウィッシュ(make a wish)」とは、英語で「ねがいごとをする」という意味です。

メイク・ア・ウィッシュは、難病の子どもたちの夢をかなえることを唯一の目的とした国際的非営利団体です。難病と闘う子どもたちには一人ひとり心に描いている夢があります。その夢を実現するために、準備・資金・労力等、あらゆる便宜を可能な限り提供し、夢を実現することによって子どもたちに生きる力や病気と闘う勇気をもってもらいたい—それがメイク・ア・ウィッシュの願いです。

メイク・ア・ウィッシュの国際的組織メイク・ア・ウィッシュ インターナショナルでは、41の国や地域が共通の理念を基に活動を行っています。メイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパンもその一員です。各国・地域は、メイク・ア・ウィッシュ インターナショナルから財政的な支援を受けず、あくまで独立した支部運営を行っています。

メイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパンの歩み

日本におけるメイク・ア・ウィッシュの活動は、1992年に沖縄でスタートしました。その後、1994年に事務局を東京に移し、平成21年には一般財団法人になりました。現在は全国6都市に支部を開設して活動を展開、登録ボランティアの数も500名を超え、年間200名を超える子どもの夢をかなえています。また、子どもの活動は様々なメディアでも大きく紹介されてきましたが、2016年7月から2018年6月には、公益社団法人ACジャパンの支援キャンペーンにも選ばれ、支援の輪がさらに広がっています。2017年9月16日からは公益財団法人として活動を続けていきます。

メイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパンは1993年に「遊園地へ行きたい」という夢をかなえたことを第一歩として、その後「野生のイルカと泳ぎたい」「ウルトラマングレートと一緒に闘いたい」「世界一大きいヘラクレスオオカブトムシに触りたい」「サンタクロースと遊びたい」など、多くのすばらしい夢をかなえるお手伝いをすることができました。

これからもひとりでも多くの子どもたちの夢をかなえ、すてきな笑顔と出会うために、メイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパンは活動を続けていきます。

●事業計画

I. ウィッシュ事業

ウィッシュ事業は、「難病の子どもの夢をかなえるお手伝いをする」活動全般そのもので、当団体の中核事業です。

難病の一次定義は、「命にかかわる病気・病状」であり、具体的な病名は当団体の定める病名リストに基づきます。ウィッシュチャイルドが対象になるかどうかの最終判断は、子どもの主治医が医学的見地から認定します。小児がん等、当団体の設立当時には不治の病といわれた病気も、医療技術の飛躍的な進歩により、今やその7割を超える患儿が小児がんを克服できるようになりました。しかしながら今なお多くの子どもが難病との闘いを余儀なくされています。メイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパンは、対象となる全ての子どもに夢をかなえる機会を持ってもらうべく、今年もウィッシュ事業を進めてまいります。

1. 夢の実現

2018年度には、235人の子どもたちの夢をかなえることができました（対前年で+8人、+3.5%）。実現した夢を分類すると以下ようになります。

（ ）内訳

行きたい	158人
ディズニーリゾート	(76)
スポーツイベント	(4)
国内旅行	(70)
海外旅行	(3)
その他	(5)
なりたい	2人
会いたい	48人
有名人	(44)
その他	(4)
欲しい	27人
動物	(1)
電気製品	(7)
おもちゃ	(5)
パーティ	(2)
その他	(12)
合計	235人

昨年は、夢の実現一件あたりの直接費用は約232,000円でしたが、今事業年度も同等の水準を見通しています。今事業年度においては、240名の子どもたちの夢をかなえることができるように、全力を尽くしてまいります。

2. 広報活動

当団体やその活動についての認知を高めるべく、広報活動をより積極的に展開してまいります。2016年7月から2018年6月に行われたACジャパンの支援キャンペーンでは、TV・ラジオなどを媒体として全国展開され、これまで以上に多くの方々にメイク・ア・ウィッシュオブ ジャパンのことを知ってもらいきっかけになりました。今事業年度に関しましては、全国各地での講演活動に加え、ホームページ、Facebook、Instagramなどのソーシャルネットワークの活用をこれまで以上に積極的に推進してまいります。

3. 会員増加及び寄付活動

当財団にとっての最大の収益源は寄附金収入です。より多くの個人や企業の皆さんに財政的支援をいただくべく、積極的な広報活動や様々なイベントを通じた啓蒙活動を展開してまいります。

加えて、より寄付をしていただきやすい環境整備に取り組みます。具体的には、支援会員制度の見直し、ネットからの寄付の仕組みの改善、提携クレジットカードの会員拡大等を進めてまいります。

今事業年度は、会費と寄附金を合わせて101,000千円収益を計画しております。

4. ボランティア養成と支援

夢の実現はボランティアによって支えられています。ボランティアの養成については、東京本部では年2回ボランティアトレーニングを開催していますが、各支部でも同様の取り組みを進めてまいります。

情報共有を主な目的に、東京本部・各支部ではボランティア定例会を開催しておりますが、さらにきめ細かにボランティアの活動を支援するために、適宜フォローアップトレーニングを開催していきます。

Ⅱ. イベント事業

当財団の活動をより多くの人に知っていただき、ご支援をいただきたい。そのような想いで、様々なチャリティーイベントを全国各地で開催しています。

今年度に計画している主要イベントは、以下の通りです。

支部	名 称	開催月	参加者
東京	第24回チャリティマラソン	2019年11月	600
	第22回チャリティコンサート	2019年11月	150
	第12回チャリティ駅伝大会	2019年12月	660
	子どもの日コンサート	2020年5月	150
札幌	第13回チャリティ・ラン&ウォーク	2019年9月	400
仙台	第17回レディーステニス大会	2019年12月	450
	第20回チャリティ駅伝大会	2020年6月	64
名古屋	チャリティマラソン in 庄内緑地 2020	2020年4月	180
	チャリティボウリング in 星ヶ丘ボウル	2020年8月	130
関西	チャリティランチコンサート	2020年2月	60
	チャリティウォーク Kyoto 2020	2020年4月	100
	奈良チャリティウォーク 2020	2020年5月	50
広島	第5回チャリティ イベント in 松山	2019年9月	150
	第12回チャリティリレーラン	2019年12月	150
福岡	第3回チャリティ・ダンク	2019年10月	80
	第9回チャリティ・ラン&ウォーク	2019年11月	350
			3,724

今年度のイベント開催による収益は 10,000 千円を計画しております。

Ⅲ. 物品販売事業

当財団ではオリジナルグッズを作成し販売しています。今年度のカテゴリー別販売計画は以下の通りです。

物品販売事業 内訳 千円

		品数	売上
	書籍	5	1,200
	アパレル	5	1,500
	文具	8	1,000
	アクセサリ	9	1,500
オリジナルグッズ			5,200
バザー			300
本の印税			10
物品販売事業 合計			5,510

Ⅳ. 不動産賃貸業

当財団は2010年に支援者より遺贈を受けた不動産（アパート）を東京都渋谷区西原に保有しておりましたが、2019年4月に売却し、2019年7月に東京都千代田区九段南に新たに賃貸用不動産（ビル）を購入しました。それに伴い、当ビル4Fに東京本部事務局を移転します。

尚、不動産賃貸事業を継続し、今年度は22,500千円の賃貸収益を計画しております。

V. 法人管理

今年度は以下の重点課題に取り組んでいく所存です。

- ・メイク・ア・ウィッシュの国際組織メイク・ア・ウィッシュ インターナショナルと連携して、グローバルレベルでのファンドレイジングに取り組んでいく
- ・メイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパンの公益法人としてのさらなる発展のために、機関管理やガバナンスを着実に実行していく

以上